

日本分析化学会九州支部

支 部 ニ ュ ー ス

第 3 4 号 2 0 1 6 年 8 月

九州支部ウェブサイト
http://www.jsac.or.jp/~jsac_kyushu/

2016 年度 日本分析化学会九州支部
〒804-8550 北九州市戸畑区仙水町 1 - 1
九州工業大学大学院 工学研究院 物質工学研究系

支部活動報告

❖ 2016 年度 第 1 回常任幹事会 ❖

2016 年 6 月 18 日（土）、九州工業大学戸畑キャンパス教育研究棟 8 号棟 C303 号室において日本分析化学会九州支部 2016 年度第 1 回常任幹事会が開催されました。議事録は支部ウェブサイトに掲載しております。下記リンクよりご覧下さい。
http://www.jsac.or.jp/~jsac_kyushu/2016/16minute1.pdf

❖ 第 29 回 九州分析化学若手の会 春の講演会 ❖

主催：九州分析化学若手の会、日本分析化学会九州支部

世話人：福岡大学理学部化学科 吉田 享次 先生

2016 年 5 月 14 日（土）、福岡大学中央図書館多目的ホールにおいて、第 29 回九州分析化学若手の会春の講演会が開催されました。支部長の挨拶に始まり、以下の 4 名の先生方にたいへん興味深いご講演をいただきました。講演終了後、次期 2017 年（第 30 回）の春の講演会世話人である佐藤しのぶ先生（九工大院工）と、今夏開催予定の第 34 回夏季セミナー世話人である末田慎二先生（九工大院情報工）から予告があり、引き続いて情報交換会を催しました。講演会には 114 名、情報交換会にも 31 名の参加者がありました。

講師・講演題目

- ・光ピンセットで雲をつかむ
（広島大院理）石坂 昌司 先生
- ・液体の統計力学理論による溶液内化学・生物過程の解析
（九大院理）吉田 紀生 先生
- ・こんなことがわかる！X 線回折分析～最新機器の紹介からアプリケーション例まで～
（株式会社リガク）森川 千晶 先生
- ・イオン液体と分子性液体の混合状態と遷移金属イオンの錯形成平衡に対するその効果
（佐賀大院工）高椋 利幸 先生



❖ 2016 年度 九州分析化学会賞 ❖

選考委員会による審査の結果、鹿児島大学大学院理工学研究科の肥後 盛秀教授が 2016 年度九州分析化学会賞の受賞者に決定いたしました。受賞題目は「金属薄膜の形態制御と分析化学における利用に関する研究」です。おめでとうございます！

肥後先生には秋の日本分析化学会九州支部 60 周年記念事業での講演をお願い致しますと共に、今後とも、九州支部の発展のためにお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

❖ 2016 年度 九州分析化学奨励賞 ❖

選考委員会による審査の結果、2016 年度九州分析化学奨励賞の受賞者は以下の 7 名に決定いたしました。おめでとうございます。受賞者の皆さまには今後の発展と共に、分析化学会および九州支部への貢献を期待いたします。また、次年度も会員の皆様からの本奨励賞への積極的な応募をお願いいたします。

受賞者・受賞題目

- ・ 石郷 翔人 君 (九州大学大学院薬学研究院)
「重塩酸加水分解・二次元 HPLC-MS/MS を用いるタンパク質中の微量 D-アミノ酸残基分析法開発」
- ・ 清川 恵奈 さん (福岡大学大学院薬学研究科)
「フルオラス相互作用を利用した生体内リン酸化化合物の高選択的分析法の開発と応用」
- ・ Mahmoud Hamed El-Maghrabey 君 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科)
「Development and validation of new analytical methods for clinically important aldehydes」
- ・ 郭 建 さん (九州大学大学院農学研究院)
「Evaluating the Reduced Hydrophobic Taste Sensor Response of Dipeptides by Theasinensin A by Using NMR and Quantum Mechanical Analyses」
- ・ 川越 亮介 君 (九州大学大学院薬学研究院)
「生理活性イオウ種の蛍光センシング研究」
- ・ 登 貴信 君 (九州大学大学院工学研究院)
「新規プロテインキナーゼ活性検出分子システムの開発」
- ・ 宮尾 寛樹 君 (九州工業大学大学院情報工学研究院)
「高感度イムノセンシング系の構築を指向した固相基板上への抗体固定化技術の開発」

❖ 第 53 回 化学関連支部合同九州大会 ❖

共催：(公社) 日本分析化学会九州支部ほか 7 化学関連支部、北九州市
期日：2016 年 7 月 2 日 (土)
会場：北九州国際会議場 (北九州市小倉北区浅野 3-9-30)

分析化学関係の講演

[特別公演]

杉本 直己 先生 (甲南大学)

「非二重らせんが生み出す新しい生命化学」

[依頼公演]

戸田 敬 先生 (熊大院自然)

「大気粒子や大気化学を探る分析化学的アプローチ」
プログラム：

ポスターセッション (分析化学分野 10:10~11:10)
AC-2-001~AC-2-0050) 計 50 件

他のセッション等については、大会ホームページ
(<http://godo-kyushu.jp/godo/index.html>) をご覧下さい。

2016 年度九州分析化学ポスター賞の受賞者は、審査の結果以下の 4 名に決定いたしました。おめでとうございます。受賞者の皆さまには今後の更なる発展を期待いたします。

- ・ 井上 広太郎 君 (熊大院自然)
「塩素酸の生成速度定数に対するイオン強度の効果」
- ・ 駒林 玄軌 君 (九大院農)
「光塩基発生剤である Nifedipine をマトリックスとして用いた中性ポリフェノール類の高感度 MALDI-MS 検出」
- ・ 高田 雄介 君 (九大院薬)
「AM contact システムの拡張を目指した新規蛍光分子のデザイン」
- ・ 野口 栞 さん (熊大院自然)
「ネライストキシンの電気化学的検出」

❖ 機器分析ワークショップ 2016 in 熊本 ❖

主催：日本分析化学会九州支部

協賛：(株)ジェイ・サイエンス・ラボ

(株)ジェイ・サイエンス西日本

サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)

日時：平成 28 年 7 月 20 日 (水) 13:30~16:20

開催場所：熊本大学 工学部 (共用棟黒髪 1, 2F 203 講義室)

講演題目：

- ・ 西口講平 様 (株)ジェイ・サイエンス・ラボ：ガス交換部)
「浮遊微粒子中金属及びガス状金属のリアルタイム測定」
- ・ 高原健太郎 様 (サーモフィッシャーサイエンティフィック(株))

「高分解能ベンチトップ型フーリエ変換質量分析計 Orbitrap の詳細」

- ・ 森田正義 様（㈱ジェイ・サイエンス・ラボ：元素分析室）

「灰分回収可能な省スペース小型有機元素分析装置の紹介」

問合先：㈱ジェイ・サイエンス西日本 川上、古財
TEL：092-611-9161 FAX：092-611-9165

❖ 第34回 九州分析化学若手の会 夏季セミナー ❖

主催：九州分析化学若手の会、日本分析化学会九州支部

期日：2016年7月29日(金)～30日(土)

会場：みるきーすばサンビレッジ（大分県日田市）

内容：分析化学に関する若手研究者間の勉強会、講演

○招待講演1：満塩勝 先生（鹿児島大学大学院理工学研究科）「表面プラズモン共鳴現象と石英ガラス棒を組み合わせた屈折率センサー」

○招待講演2：岸川直哉 先生（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科）「蛍光反応の臨床化学への応用」

○招待講演3：黒木祥文 先生（エルガ・ラボウォーター）「超純水の使用方法が分析に与える影響」

○九州分析化学奨励賞授与式・受賞講演

○九州分析化学ポスター賞授与式・模範ポスター発表

○一般ポスター発表：（審査の結果、7名の方が九州分析化学若手賞（ポスター賞）に選出されました。）

○九州分析化学若手賞・ベスト質問賞授与式

○総会

世話人：九州工業大学大学院情報工学研究院

末田慎二 先生

7月29、30日（金・土）の日程で、第34回九州分析化学若手の会夏季セミナーを、みるきーすばサンビレッジにて開催いたしました。今年は、24の研究室/団体から135名の参加がありました。

初日は、招待講演から開始し、満塩勝先生、岸川直哉先生、黒木祥文先生の3名の先生方に、講演をしていただきました。先生方の研究を理解する上で欠かせない基本から先端の研究まで、初学者にもわかりやすい講演をしていただきました。座長は、井上高教先生（大分大）、浜瀬健司先生（九州大）、大平慎一先生（熊本大）にご担当いただきました。

次に、第53回化学関連支部合同大会においてポ

スター賞を受賞された以下の4名の方に模範ポスター発表をしていただきました。座長の先生の進行のもと、活発な議論が行われました。座長は、田中充先生（九州大）、北村裕介先生（熊本大）、石松亮一先生（九州大）、梅木辰也先生（佐賀大）にご担当いただきました。

井上広太郎さん（熊本大学大学院自然科学研究科）

駒林玄軌さん（九州大学大学院農学研究院）

高田雄介さん（九州大学大学院薬学研究院）

野口隼さん（熊本大学大学院自然科学研究科）



招待講演 満塩 勝 先生



招待講演 岸川 直哉 先生



招待講演 黒木 祥文 先生

上記の模範ポスター発表の後、一般ポスター発表を行いました。今回、65件の発表があり、参加者全員による審査の結果、以下の7名の方が九州分析化学若手賞（ポスター賞）を受賞されました。

吉田理紗さん（九州大学大学院農学研究院）

黒木由紀さん（福岡大学薬学部）

平尾麻子さん（九州大学大学院農学研究院）

相原希美さん（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科）

植木健治さん（九州大学大学院薬学研究院）

井本ゆりかさん（熊本大学大学院先端科学研究部）

坂本龍太さん（九州工業大学大学院工学研究院）



模範ポスター発表



九州分析化学若手賞受賞者

ポスター発表・休憩後の夕食では、各研究室の趣向を凝らした、にぎやかな研究室紹介が行われました。かわいらしい妖怪ウォッチのダンスを披露してくれた福岡大学の薬品分析学教室の皆さんがベスト

パフォーマンス賞に選ばれました。また、体を張ったパフォーマンスを披露してくれた熊本大学の井原研究室の皆さんも、努力賞（2位）に選ばれました。

夕食後、会場のみるきーすばサンビレッジ様のご厚意で、情報交換会の会場をご用意いただき、夜遅い時間まで、大学をこえて、熱い議論がかわされました。また、今年も昨年に続き、エルガ・ラボウォーター様からのご厚意により、会場で超純水装置による水割をご提供いただきました。

2日目は、九州分析化学奨励賞授与式及び九州分析化学ポスター賞授与式の後、若手の会総会を行い、その後、九州支部奨励賞を受賞された7名の方による講演を執り行いました。いずれの講演も完成度の高いもので、しっかりとした質疑応答もなされていました。受賞者の中には2名の留学生もおられ、2名とも英語での発表でした。受賞者7名の氏名と受賞タイトルを以下に示します。受賞講演の座長は、井倉則之先生（九州大）、森健先生（九州大）、佐藤しのぶ先生（九州工大）にご担当頂きました。

- ・石郷翔人 君（九州大学大学院薬学研究院）「重塩酸加水分解・二次元 HPLC-MS/MS を用いるタンパク質中の微量 D-アミノ酸残基分析法開発」
- ・清川恵奈 さん（福岡大学大学院薬学研究科）「フルオラス相互作用を利用した生体内リン酸化合物の高選択的分析法の開発と応用」
- ・Mahmoud Hamed El-Maghrabey 君（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科）「Development and validation of new analytical methods for clinically important aldehydes」
- ・郭建 さん（九州大学大学院農学研究院）「Evaluating the Reduced Hydrophobic Taste Sensor Response of Dipeptides by Theasinensin A by Using NMR and Quantum Mechanical Analyses」
- ・川越亮介 君（九州大学大学院薬学研究院）「生理活性イオウ種の蛍光センシング研究」
- ・登貴信 君（九州大学大学院工学研究院）「新規プロテインキナーゼ活性検出分子システムの開発」
- ・宮尾寛樹 君（九州工業大学大学院情報工学研究院）「高感度イムノセンシング系の構築を指向した固相基板上への抗体固定化技術の開発」

今年度もベスト質問賞を設けて、学生からの質問を奨励したところ、質問時間をオーバーするほどの数多くの質問が寄せられました。この取り組みは2年前に九州大学の森先生が始められたのですが、会の活性化に大きく貢献できるシステムだと改め感じさせられました。今回のベスト質問賞を受賞は以下の3名です。

坂本光さん（九州大学大学院理学研究科）

岡山真哉さん（九州工業大学大学院生命体工学研究科）

黒田正雄さん（九州工業大学大学院工学研究院）



ベスト質問賞受賞者



石郷翔人さん



清川恵奈さん



M. H. El-Maghrabey さん



郭建さん



川越亮介さん



登貴信さん

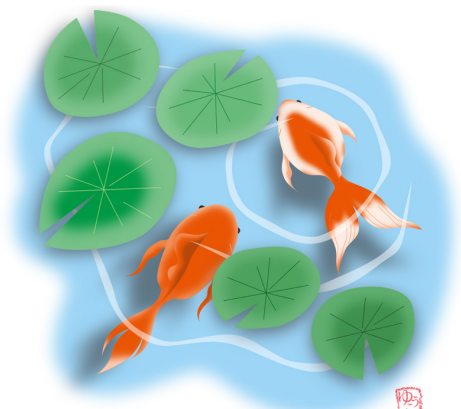


宮尾寛樹さん

九州分析化学奨励賞
受賞講演

本年度の夏季セミナーの運営に際して、九州支部からの助成に加え、加藤科学振興会、大分県日田市及び多数の企業から助成金や広告費としてご支援して頂きました。これらのご支援により今回の夏季セミナーを盛会の内に終えることができました。この場をお借りして御礼申し上げます。最後に講演者、座長の先生方ならびにご参加頂いた皆様、そして運営にご協力いただきました多くの方々に深く感謝の意を表します。来年は、佐賀大学の梅木先生がお世話をされ、原鶴温泉（福岡県朝倉市）で開催される予定です。来年また多くの方にご参加いただきますよう御願いたします。

世話人 九州工業大学大学院情報工学研究院
末田慎二





第 34 回九州分析化学若手の会夏季セミナー 参加者集合写真

❖ 第 57 回 分析化学講習会 ❖

主催：日本分析化学会九州支部

共催：福岡市，九州大学学術研究都市推進機構，日本化学会九州支部，電気化学会九州支部，日本薬学会九州支部，日本食品科学工学会西日本支部，日本農芸化学会西日本支部，日本栄養・食糧学会九州・沖縄支部，日本臨床化学会九州支部，日本水環境学会九州支部，福岡県環境計量証明事業協会

期日：8月3日（水）～5日（金）

会場：九州大学伊都キャンパス（〒819-0395 福岡市西区元岡 744）

福岡市産学連携交流センター（〒819-0388 福岡市西区九大新町 4-1）

福岡大学理学部（〒814-0180 福岡市城南区七隈 8-19-1）

講義：（8月3日，9:30～17:00、福岡市産学連携交流センター）

1. ガスクロマトグラフィー

（九大院農）下田 満哉 先生

2. 高速液体クロマトグラフィー

（九大院薬）浜瀬 健司 先生

3. 原子スペクトル分析

（九環協）天日 美薫 先生

実習または講義と実習：（8月4日・5日，9:30～16:30，

各日 1 コース，2 日間で計 2 コースを選択）

1. ガスクロマトグラフィー(GC)

（九大院農）下田 満哉 先生

（九大院農）益子原 香 先生

A. 化合物の同定（保持指標、マススペクトル）

B. 定量分析（内標準法）

C. 試料導入法（スプリット法、スプリットレス法）

D. 香気成分のサンプリング（固相マイクロ抽出法）

E. 食品の香気成分分析（GC-MS 法）

2. 高速液体クロマトグラフィー（HPLC）

（九大院薬）浜瀬 健司 先生

（福岡大薬）巴山 忠 先生

A. 逆相 HPLC の基礎実習と実試料分析（医薬品・化粧品分析）

B. HPLC 機器の内部構造とメンテナンス

C. HPLC 用超純水製造装置

D. 超高速全自動プレカラム誘導体化アミノ酸分析

E. PDA 検出器並みの感覚で使用出来る MS 検出器の紹介

F. 逆相モード、HILIC モードを用いた低分子化合物の分離～汎用から最新の高速分析カラムまでのカラム選択～

G. 多次元 HPLC システムによる高分解能分析

H. イオンクロマトグラフィーによる水、大気などの環境分析ならびに各種品質評価

I. 卓上小型 MS 検出器 ACQUITY QDa を用いる新感覚 LC-MS 分析

J. 分取・精製クロマトグラフィー／円二色性検出器を用いたキラル分離

3. 誘導結合プラズマ質量分析法(ICP-MS)の実習

（九環協）天日 美薫 先生

A. 固相抽出法による模擬海水試料の前処理

B. 固相抽出の実習(工業廃水:Cr(VI)分子認識固相)
 C. マイクロピペッターの精度管理とメンテナンス
 D. ICP-MS 法による金属分析及びメンテナンス
 4. X 線分析の講義と実習(X-ray) (8 月 4 日のみ、福岡大学理学部)

(福岡大理) 栗崎 敏 先生

A. X 線分析(回折、蛍光 X 線分析)の基礎に関する講義と測定及びデータの解析

5. 電子顕微鏡分析の講義と実習(EM) (8 月 5 日のみ、福岡市産学連携交流センター)

(九大院理) 宇都宮 聡 先生

A. 電子顕微鏡分析(SEM と TEM)の基礎に関する講義と SEM による試料観察

ランチョンセミナー (8 月 4 日・5 日, 12:00~13:00、九州大学伊都キャンパス)

使用機器 サーマフィッシャーサイエンティフィック(ジェイ・サイエンス西日本), 東ソー, 島津製作所, 日本分光, 日立ハイテックサイエンス, 日本ウォーターズ, ジーエルサイエンス, エムエス機器, 資生堂, オルガノ, メルクの提供による最新機器

参加費 主催・共催会員 35,000 円、会員外 45,000 円、学生 15,000 円

問合先: 〒812-8581 福岡市東区箱崎 6-10-1 九州大学大学院 農学研究院 食品製造工学研究分野

実行委員長 下田満哉(TEL&FAX 092-642-3015)

庶務・会計 井倉則之(TEL&FAX 092-642-3016)

8 月 3 日から 8 月 5 日にかけて、第 57 回分析化学講習会が福岡市産学連携交流センター、九州大学伊都キャンパスおよび福岡大学七隈キャンパスで開催されました。受講生は 3 日間で延べ約 150 名で例年とほぼ同様であり、西日本全域から多くの企業や団体から参加いただきました。

初日の講義(1. ガスクロマトグラフィー(GC)、2. 高速液体クロマトグラフィー(HPLC)、3. 原子スペクトル分析(AAS))は福岡市産学連携交流センターの多目的ホールで行われました。それぞれ下田講師(九大院農)、浜瀬講師(九大院薬)と天日講師(九環協)に担当いただきました。またランチタイムに、九州大学学術都市推進機構および福岡市産学連携交流センターの「分析・解析よろず相談室」の紹介もなされました。

2 日目は GC、HPLC、ICP-MS の実習に加えて、昨年に引き続き X 線分析(X-ray)の講義と実習を栗崎講師(福岡大理)に担当いただきました。今年は実機を用いた実習を行って頂けるよう、福岡大学七隈キャンパスにて開講していただきました。またランチタイムにはオルガノの牧野講師によるランチョンセミナーが開催されました。

3 日目は、GC、HPLC、ICP-MS の実習に加え、こちらも昨年に引き続き電子顕微鏡分析(EM)の講義と実習を宇都宮講師(九大院理)に担当いただきました。今年は午前中に講義を九州大学伊都キャンパスで、午後に実習を福岡市産学連携交流センターで行って頂きました。ランチョンセミナーはメルクの子金講師に行って頂きました。3 日目の実習終了後には、HPLC の修了試験が実施されました。これは、日本分析化学会認定資格である「HPLC 分析士」の試験免除が認められるものであり、関東地区以外では唯一、九州支部の分析化学講習会で実施されています。

第 57 回分析化学講習会をなんとか無事に終えることができました。これも関係された皆様のご支援のおかげです。最後になりましたが、ご参加いただいた受講生の皆様、ご協力いただきました幹事会社、協力会社様、ご助言、ご助力をいただきました九州支部の先生方にこの場をお借りして感謝申し上げます。[九州大学大学院農学研究院 下田 満哉]

第57回分析化学講習会

— 機器分析を基礎から応用まで —

日本分析化学会九州支部

8月3日・4日・5日

九州大学伊都キャンパス
 (〒819-0395 福岡市西区元町744)
福岡市産学連携交流センター
 (〒819-0368 福岡市西区九大前4-1)
福岡大学理学部
 (〒814-0180 福岡市城南区七隈B-19-1)

1. 講義(全3日) 8:30~17:00
 (受講生は産学連携交流センターにて)

1. ガスクロマトグラフィー(GC)の基礎から応用まで
 2. 高速液体クロマトグラフィー(HPLC)の基礎から応用まで
 3. 原子スペクトル分析(AAS)の基礎から応用まで

2. 実習(全3日) 8:30~16:30
 (受講生は産学連携交流センターにて)

1. GCの実習
 2. HPLCの実習
 3. AASの実習

3. ランチョンセミナー(全3日) 12:00~13:00
 (受講生は産学連携交流センターにて)

1. 8月3日: 有機化学の基礎から応用まで
 2. 8月4日: 分析化学の基礎から応用まで
 3. 8月5日: 分析化学の基礎から応用まで

4. 修了試験(全3日) 17:00~18:00
 (受講生は産学連携交流センターにて)

1. GCの修了試験
 2. HPLCの修了試験
 3. AASの修了試験

行事案内

❖ 機器分析ワークショップ 2016 in 大分 ❖

❖ 日本分析化学九州支部創立 60 周年記念会 ❖

主催：日本分析化学会九州支部

共催：北九州市

会期：2016年11月18日（金）14：00 – 17：30

会場：北九州国際会議場（北九州市小倉北区浅野 3-9-30）

代表世話人：竹中 繁織（九州工業大学大学院工学研究院 日本分析学会九州支部支部長）

懇親会：2016 年 11 月 18 日（金）18：00 – 20：00
ステーションホテル小倉

13:30-14:30 記念行事

14:30-17:45 記念講演会

14:30-15:10 谷口功 先生（国立高専機構理事長）

Functional Electrodes for Bio-electrochemical

Analysis of Biological Molecules and Their

Applications

（生体分子の生物電気化学的解析のための機能電極とその応用）

15:10-15:50 Prof. Hasuck Kim

（Daegu Gyeongbuk Institute of Science and Technology, Korea）

Metal ion sensings by selective molecular recognition

15:50-16:00 休憩

16:00-16:40 Prof. Sing-Hua Xia (Nanjing University)

Nanofluidics based bioanalysis

16:40-17:20 肥後 盛秀(鹿児島大学)

Morphological control of metallic thin film and its application in analysis chemistry

（金属薄膜の形態制御と分析化学における利用に関する研究）

17:20-17:30 閉会式

主催：日本分析化学会九州支部

協賛：(株)ジェイ・サイエンスグループ

(株)ジェイ・サイエンス・ラボ・(株)ラウンド・サイエンス

(株)ジェイ・サイエンス西日本

開催日時：平成28年10月26日（火）13:30～16:30

開催場所：大分大学（産学官連携推進機構）

参加費：無料

参加募集定員：40名程度 先着順

【最終締切：10月24日】

内 容：

- ・新技術、粉体大気圧プラズマ表面処理技術について

- ・ICP用気体試料導入システムによる大気中微量水銀連続測定等について

- ・灰分回収可能な省スペース小型有機微量元素分析装置（国産唯一）の紹介

プログラム

13:30～13:35 日本分析化学会九州支部からのご挨拶

井上高教（大分大学工学部准教授）[常任幹事：大分・宮崎]

13:35～14:40 新技術、粉体大気圧プラズマ表面処理技術について

古賀啓子((株)ジェイ・サイエンス西日本・技術顧問)

14:40～14:50 休憩

14:50～15:40 ICP用気体試料導入システムによる大気中微量水銀等連続測定について

西口講平（(株)ジェイ・サイエンス・ラボ：ガス交換部）

15:40～16:30 灰分回収可能な省スペース小型有機微量元素分析装置（国産唯一）の紹介

- ・有機微量元素分析装置の歩み
- ・開放型燃焼管のメリット
- ・分析例の紹介

森田正義（(株)ジェイ・サイエンス・ラボ：元素分析室）

問合せ先・申込先：(株)ジェイ・サイエンス西日本
(TEL:092-611-916 Fax: 092-611-9165)

川上 (kawakami@js-n.co.jp), 津留
(tsuru@js-n.co.jp), 松尾 (matsuo@js-n.co.jp)

❖ 第33回イオンクロマトグラフィー討論会 ❖

主催：日本分析化学会イオンクロマトグラフィー研究懇談会

後援：日本分析化学会九州支部

会期：2016年12月1日(木)～2日(金)

12月1日(木) 13:00～

12月2日(金) 9:30～16:00

会場：熊本市国際交流会館 4階第3会議室(メイン会場)・4階第1会議室(ポスター会場)

<http://www.kumamoto-if.or.jp/kcic/>

参加費：一般 5,000円 学生 2,000円(当日, 受付にてお支払いください。)

内容：イオン分析に関連する前処理・分離・検出法など

討論主題

プレカラムとポストカラム～分離の前後における革新技術～

情報交換会：2016年12月1日 17:30～

熊本城桜の馬場城彩苑 ビュッフェレストラン「ぎんなん」

<http://www.kyusanko.co.jp/retail/ginnan/>

問い合わせ先：第33回イオンクロマトグラフィー討論会 実行委員会

熊本大学先端科学研究部基礎科学部門 大平慎一

〒860-8555 熊本県熊本市中央区黒髪2-39-1

熊本大学理学部

TEL/Fax 096-342-3384

E-mail: ic-forum@jsac.jp

❖ 日本分析化学会第65年会 ❖

期日：2014年9月14日(水)～16日(金)

会場：北海道大学工学部

9月14日：一般講演(口頭), 若手講演(ポスター),
依頼講演(口頭), テクノレビュー講演(口頭),

受賞講演, 研究懇談会講演, 特別シンポジウム,
ランチョンセミナー, 機器展示会

9月15日：一般講演(口頭), 若手講演(ポスター),
依頼講演(口頭), テクノレビュー講演(口頭),
受賞講演, 研究懇談会講演, 特別シンポジウム,
ランチョンセミナー, 機器展示会, 学会賞等授賞式,
学会賞受賞講演, 懇親会

9月16日：一般講演(口頭, ポスター), 依頼講演
(口頭), テクノレビュー講演(口頭, ポスター),
受賞講演, 研究懇談会講演, 特別シンポジウム,
機器展示会

【第3回アジア分析科学シンポジウム】

(3rd Asian Symposium on Analytical Sciences)

日時: 9月14日(水)

【特別シンポジウム】

9月14日(水)

1. 農工連携と分析化学
2. 医療に関わる分析化学
3. 化学教育における分析化学の役割(一般公開)

9月15日(木)

4. 界面現象を解明する分析化学

9月16日(金)

5. 環境に関わる分析化学

【特別公開シンポジウム；産業界シンポジウム】

9月14日(水)

産業の最前線で活躍する分析化学

日本分析化学会第65年会実行委員会事務局

〒060-0810 札幌市北区北10条西5丁目

北海道大学大学院地球環境科学研究院内

E-mail: bunseki65nenkai@ees.hokudai.ac.jp

<http://conference.wdc-jp.com/jsac/nenkai/65/index.html>

詳しくはウェブサイトおよび「ぶんせき」をご覧ください。

事務局より

❖ Analytical Sciences 誌等への投稿のお願い ❖

国際的に認知された論文誌は、会員と学会にとって重要なだけでなく、我が国の優れた研究成果を発信して世界的なプレゼンスを高めます。Analytical Science 誌は、優れた学術論文・総説を掲載し、併せて国際的な認知度を向上させる取り組みを行っています。例えば、J-STAGE によるオープンアクセス化、メールマガジンなどがあります。毎月各号の“Hot Article”選定と表彰、年間最多引用論文賞—“Most Cited Paper Award of Analytical Sciences”も好評を頂いています。投稿は完全に電子化され、スムーズかつ短期間のうちに成果を公開できます。良い研究論文はぜひ Anal. Sci. 誌へご投稿ください。他のジャーナル等に投稿される場合も Anal. Sci. 誌の論文を引用頂けましたら幸いです。Anal. Sci. 誌の国際プレゼンス向上に、皆様方のご協力をお願いいたします。また、「分析化学」などの他誌も可愛がっていただき、機会があればご投稿ください。

❖ 入会を歓迎します ❖

あなたのお近くに日本分析化学会への入会を考えていただけそうな方がいらっしゃいませんか？是非、入会をお誘い下さい。支部の事務局へご連絡頂ければ入会案内をお送りします。また、入会ご検討中の方に対しては、要望すれば機関紙の見本を学会本部からもらえるそうです。日本分析化学会の会員拡充にどうぞご協力下さい。

❖ 編集後記 ❖

本年4月の熊本地震では、熊本地方を中心に大きな被害がもたらされました。日本分析化学九州支部は、熊本地震により被災した方に心よりお見舞い申し上げます。

本年は、九州支部創立60周年にあたります。11月に行われる60周年記念会には、部会の皆様方のふるってのご参加をお待ちしております。

本年も支部ニュースは年2回の発刊を予定しております。次の35号は2016年2月頃に電子版で配信致します。支部ニュースへのご意見、掲載されたい記事等がございましたらお気軽にご連絡ください。まだまだ残暑の日々が続きますが、どうぞ御自愛の上、研究、勉学にお励み下さい。(副支部長・王子田)



2016 年度 日本分析化学会九州支部 事務局

〒804-8550 北九州市戸畑区仙水町 1 - 1
九州工業大学大学院 工学研究院 物質工学研究系

支部長	竹中 繁織（九州工業大学大学院工学研究院） shige@che.kyutech.ac.jp / 093-884-3322
副支部長	王子田 彰夫（九州大学大学院薬学研究院） ojida@phar.kyushu-u.ac.jp / 092-642-6596
副支部長	満尾 良弘（日鉄住金テクノロジー株式会社） mitsuo-yoshihiro@nsst.jp / 093-872-5416
庶務幹事	佐藤 しのぶ（九州工業大学大学院工学研究院） shinobu@che.kyutech.ac.jp / 093-884-3386
会計幹事	末田 慎二（九州工業大学大学院情報工学研究院） sueda@bio.kyutech.ac.jp / 0948-29-7834